

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会  
ハイパワーレーザー技術と高エネルギー密度科学小委員会の設置について

分科会等名:ハイパワーレーザー技術と高エネルギー密度科学小委員会

1	所属委員会名 複数の場合は、 主体となる委員 会に○印を付 ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員 以外の者
3	設置目的	<p>欧米中で大型ハイパワーレーザー施設の整備が進むとともに、2019年1月、日本学術会議エネルギーと科学技術に関する分科会主催、日米シンポジウム(公開シンポジウム「ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学技術の展望」)が開催され、この分野の日米科学技術協力事業が合意され現在進行中である。これらの動きを受けて、2020年6月、提言「パワーレーザー技術と高エネルギー密度科学の量子的飛躍と産業創成」が公表された。</p> <p>以上の動向に鑑み提言を具体化する方策として、極限物質科学等関連物理分野の開拓、地球・宇宙環境・エネルギー問題への貢献の在り方、新産業創生並びに若手研究者の育成と国際連携の方策を議論する目的で本小委員会を設置する。</p>
4	審議事項	<p>1. パワーレーザー技術と高エネルギー密度科学における極限物質科学等関連物理分野の開拓</p> <p>2. 地球・宇宙環境・安全・エネルギー問題解決への貢献</p> <p>3. 国際連携(日米協力事業等)と産学の若手人材育成の在り方</p> <p>4. 新産業創成に向けた方策</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和3年2月25日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続